

公益社団法人 日本ボクシング連盟 令和6年度 第7回理事会議事録

1	招集通知年月日	令和 6年 9月1日(日)		
1	開催年月日及び時刻	令和 6年 9月8日(日)	18:00 ~	20:10
1	開催場所	テレビ会議用アプリケーション Zoom を使用したオンライン会議		
1	出席・資格確認	理事 19名中	出席 13名	
			欠席 6名	
			議決権数 19個中	13個
	監事	3名中	出席 3名	
			欠席 0名	
	顧問		1名	
	オブザーバー		3名	

開会 (18時00分)

定款第34条に則り、井崎洋志副会長が議長となった。議長は、テレビ会議用アプリケーションZOOMを使用してWEB出席を行っている理事の回線が正常に稼働していることを相互に確認し、本理事会は適法に成立した旨を宣した。次いで定款38条2項により仲間達也会長及び高橋直子監事が署名人となることが報告された。書記には林田豊理事、鈴木遥香理事が指名され議案の審議に入った。

1. 目的事項

1) 審議・決議事項

1. 同時期の IBA 主催と WB 主催のユース大会派遣に向けての決議

議長の要請により、WB 主催のユース大会への派遣について審議され、賛成多数で議決された。

審議において次のような意見があった。

- ・WB への正式加盟が認められたが、IBA は脱退せずに重複加盟にて進んでいる。
- 両団体の大会に出場資格があるが、派遣については WB に趣をおいて検討してはどうか。
- ・アスリート委員会では WB 大会参加への支持が9名、IBA 大会参加への支持が1名であった。
- ・WB の大会はオリンピック階級での運用であり、多くの選手を派遣できる。
- ・選手選考については両団体のどちらの大会にでも参加できるように準備している。
- 日程的にボックスオフを開催するのは厳しい。
- ・IOC は WB の大会運営を通して評価する方針である。
- ・決議は WB 大会への派遣について行う。

2. 強化事業合宿・遠征時の選手負担について

①議長の要請により、強化事業費負担金(海外遠征一律10万円:国内合宿一律5万円:NTC合宿一律3万円)を参加希望選手自己負担金にて対応することが賛成多数で議決された。

②議長の要請により、強化事業費負担金(海外遠征先のエリアに合わせた配分)を参加希望選手自己負担金にて対応することが賛成少数で否決された。

③議長の要請により、強化事業費負担金(一律30%)を参加希望選手自己負担金にて対応することが賛成少数で否決された。

審議において次のような意見があった。

- ・選手強化事業費は JOC 助成金が 2/3、1/3 が日連負担(自己財源)であり、対象外経費(キャンセル料)等の課題も含め、自己負担金を集めることで JOC 助成金を満額使用したい。自己負担金を集めることにより、多くの事業に参加できる機会を増やしたい。
- ・キャンセル料については事情に応じた配慮をお願いしたい。
- ・自己負担金についてはケースによって金額を設定してはどうか。

- ・一律負担金額でなければ、事業費の30%が自己負担になる。
- ・自己負担金については事業前に確定して徴収したい。
- ・事務局にて事業前に自己負担金を設定することが厳しいので、一律の負担金を検討して欲しい。
- ・アスリートとしては、自己負担金があっても海外での経験を多く積みたい。多数の選手から賛成意見が多かった。
- ・海外遠征先のエリアに合わせた配分を検討してはどうか。
- ・選手ばかりの負担ではなく、公益化に伴いスポンサーを募り、自己財源の確保に努めて欲しい。
- ・スポンサーについては誰かが行うというのではなく、理事全員で考え取り組む課題である。
- ・決議は一律金額負担と遠征先エリアに応じた金額負担、一律30%金額負担について行う。

3. 前期理事選の再決議に関する日程調整について

議長の要請により、前期理事選の再決議に関する日程が、令和6年11月24日、予備日として12月15日で確認された。

4. 新強化委員会について 強化委員会組織（案）、強化委員会行動規範（案）について

議長の要請により、強化委員長、強化委員会組織（案）、強化委員会行動規範（案）について、後日、書面決議を諮ることが確認された。

審議において次のような意見があった。

- ・責任の明確化、チームとしての強化スタイル、強化方針が必要である。
- ・HPDに須佐理事を任命した。強化委員長には須佐HPDをサポートできる人材が必要である。
- ・日本のボクシング強化の方針、「須佐ジャパン」として男女含めた、一貫した指導をデザインし、メッセージ性のある指導を伝えたい。
- ・強化方針の言語化を行い日連上層部だけではなく、全国のボクシング関係者に伝えたい。
- ・組織体制、技術体制の方針を言語化した。
- ・強化方針を具現化するための、強化委員会組織を考えた。
- ・強化委員会を人選するにあたり強化委員会行動規範（案）を作成した。
- ・強化委員会行動規範の「その他」の範囲について明確に決めておくべきではないか。
- ・強化担当理事に意見を求めたが、業務執行理事以外の担当理事内で議論済みなので追加の意見はないとの事。
- ・強化委員長、強化委員会組織（案）、強化委員会行動規範（案）について、現状ご意見がなければ後日、書面決議を諮ることを確認して良いか。

2) 報告事項

1. 新理事・新監事の紹介

理事 高橋 藍 自己紹介、挨拶
 監事 森 悦男 自己紹介、挨拶
 監事 鬼柳 忠彦 自己紹介、挨拶

2. 令和6年7月17日第6回理事会の議事録補填について

- ・WBの加盟について追記したので、付記という形で議事録を補填した。

3. NF スポンサー個人契約違反について

報告において次のような意見があった。

- ・パリオリンピックにて、NF契約のミズノ以外のシューズ使用にメーカーがわかる部分にマスクン

グを行うことで対応をするべきであったが行わなかった。

- ・ミズノからクレームがあった。損害賠償や2025年度からのスポンサー契約が白紙など。
- ・選手、コーチ、日連に関わる全ての人の意識不足があった。
- ・今後、合宿等でミズノ以外の物は持参させない。選手に誓約書を記載させるなどの対応が必要ではないか。
- ・三者契約を機能させることが課題である。現実的な規則制定が必要である。
- ・個人スポンサーの契約内容が日連メインスポンサーに抵触していないかの確認が必要である。

4. 令和7年度、大学王座、UJ王座の日程について

- ・役員の移動費など、経費削減を目的に、岡山インターハイ（8月3日閉会式）から兵庫県姫路市開催予定（8月4日、5日）の日程で計画している。
- ・西日本予選の日程については問題ないが、東日本予選は日程調整が必要である。この、日連理事会で認められれば、その方向で調整したい。

5. 2024オリパラ優秀者などに対する顕彰、表彰について

選手 原田 周大
コーチ 荒竹 俊也 で推薦することが確認された。

6. その他

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、20:10に閉会した。

以上の決議を明確にするために、この議事録を作成し、定款第38条第2項に従い出席した仲間達也会長及び高橋直子監事が議事録署名人としてこれに記名押印する。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名押印する。

令和 6 年 9 月 8 日

議事録署名人 仲間達也



議事録署名人 高橋直子

